

## 現地研修会報告（3月7日 in 八日市場）

3月7日に生命のにぎわい調査団の1回目の現地研修会を開催しました。場所は匝瑳市八日市場。北総台地にある谷津田です。雨続きで天候が心配されましたが、当日は快晴。北風も穏やかで、最高の野外観察日和となりました。

参加者は28名、うち子どもが10名でした。集合場所は八日市場公民館。研修現場までは徒歩で約2kmの道のりです。みんなで車に気をつけながら、現地に向かいました。



田んぼの水たまりでタイコウチを見つけました。  
この一帯の谷津田は、敬愛大学附属八日市場高校の八木幸市先生が、千葉県生

物学会のメンバーや八日市場高校の生徒たちと一緒に、トウキョウサンショウウオやニホンアカガエルの調査が続けられている場所です。



当日は八木先生にも現地に来ていただいて、トウキョウサンショウウオの調査結果や生態に関するレクチャーをいただきました。  
トウキョウサンショウウオの卵は、八木先生がその田んぼを所有している農家

から、調査用にお借りしている谷津田の奥の水路で観察しました。先生があらかじめ沈めておいた仕掛けに、オスのトウキョウサンショウウオが潜んでいて、見事捕獲に成功しました。体長8cmほどの小さなオスですが、滅多にお目にかかることの無い成体に触れることができ、みな大感激でした。触るとつるつるして、とても元気なのにびっくりしました。

トウキョウサンショウウオは産卵期以外は水には入らず、山の土中にいます。2月以降の暖かい雨の降った日から2~3日後の夜に、メスが山沿いの流れの無い水路などに卵を産みに降りてきます。オスはメスが卵を産みにくるのを水の中でじっと待っています。今回捕獲したオスはそうした個体のひとつと考えられます。

## 田んぼの水たまりにいたタイコウチ



## トウキョウサンショウウオの卵



## トウキョウサンショウウオのオス



## ニホンアカガエルの卵



他の谷津では野生動物の痕跡を探しました。

ウサギが草を食べた跡を見つけました。ウサギの糞も発見。イタチの糞も見つけました。大きな水路の脇にはカヤネズミの古い巣もありました。

今回は見つけられなかったけど、同じ場所で見つかったイタチの足跡もお見せしておきます。典型的な足型ではありませんが、大きさなどからイタチだと推定できます。田んぼの中のニホンアカガエルを狙ったのでしょうか。あるいは、糞の中に殻が見られたアメリカザリガニを食べにきたのか・・・。

帰り道、少し時間に余裕があったのでコモウセンゴケを見に行きました。道路沿いの斜面なのですが、ここだけに生えるというところがあります。地元の団員ノヴァさんの話では、以前はもっと一杯生えていたとのこと。環境が悪化しているのですね。

最後に参加者全員で記念撮影。みなさんお疲れさまでした。

### 現地研修会で見つけた生き物

今回の現地研修会で見つけた物。トウキョウサンショウウオの卵(多数)、トウキョウサンショウウオの♂成体、ニホンアカガエルの卵(多数)、ニホンアカガエル、ニホンアマガエル、シュレーゲルアオガエル、ウマビル、カワナ、マルタニシ、タイコウチ、ウグイス、コゲラ、タチツボスミレ、ニオイタチツボスミレ、コモウセンゴケ、トタテグモの巣、カヤネズミの古巣、ノウサギの食痕、ノウサギの糞、イタチの糞などなど・・・。

### 次回の「生命のにぎわい調査団現地研修会」は？

次回の現地研修会は**5月23日(土)**を予定しています。場所や内容についてはこれから決めていきますが、楽しみにしてください。4月17日発行予定の「生命(いのち)のにぎわい通信」第7号で詳細をお知らせします。

### トウキョウサンショウウオのオス・メスの見分け方

トウキョウサンショウウオのオス・メスは喉の下に大きな白い班があるかどうかで分かるそうです。白い班があればオス、無ければメスです。



ちなみにアカガエルの場合は前足の親指のところにこぶがあるかどうかでオス・メスを判別します。大きな黒っぽいこぶがあるのがオス、無いのがメスです。繁殖期、産卵にきたメスの背中にオスが乗り、抱きつきます。このこぶはその時に必要なのではないでしょうか。

ノウサギの糞



イタチの糞



カヤネズミの古巣



田んぼの中のイタチの足跡



コモウセンゴケ

